高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 音楽 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者：堀野 由

使用教科書：（ MOUSA I （教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようになる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創							
1 学 期	・楽典 【知識及び技能】 基本的な読譜の知識の習得 【学びに向かう力、人間性等】 読譜の知識を表現に結びつける	・ワークシート・副教材 ・楽譜の正しい読み方や書き方を身に付ける。 ・基本的な事項の復習 ・ソルフェージュ				○	・楽譜の構造を読み取り方を理解している。 ・簡単な譜面を書いてみるができる。 ・簡単な読譜の方法を身につけ、歌唱や器楽の表現に活かす。	○		○	6
	・歌唱 【知識及び技能】 作品にあった発声方法・言葉の発音・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む	・教科書・副教材 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う ・校歌 ・'0 sole mio ・Caro mio ben ・のぼら				○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○
2 学 期 （ 合 唱 は 3 学 期 も 行 う ）	・器楽 【知識及び技能】 ギターの基本的な演奏法の習得 メロディーを弾く・コード奏法 【思考力、判断力、表現力等】 ストロークを工夫し表現を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む	・ワークシート・副教材 曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する ・家路 ・サンタルチア ・木星 ・カントリーロード ・ルージュの伝言 ・なごり雪 他	○	○	○	○	・曲想とギター音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	・合唱 【知識及び技能】 作品にあった発声方法・言葉の発音・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む 作曲家・作品の背景を学び、音楽文化の奥深さを味わう	・教科書・副教材 合唱による表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌ったりする技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う。 ・ベートーヴェン 交響曲第9番				○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成、歴史的背景を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○
3 学 期	・鑑賞 歌舞伎 【知識及び技能】 歌舞伎音楽を理解する 歌舞伎の歴史や文化的背景を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 現代に続く歌舞伎の魅力を感じる	・ワークシート ・歌舞伎の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 ・現代も進化を続ける歌舞伎の魅力を感じる。 ・三味線を中心とした歌舞伎音楽の特徴を理解し、その魅力を味わう。				○	・曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりや音楽の特徴を理解している。 ・歌舞伎の文化的・歴史的背景を理解し、現代の発展について興味を持っている。 ・音楽表現の共通性や固有性について考え、歌舞伎の特徴や和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○		○	5
	・創作 【知識及び技能】	・ワークシート					・曲想と手拍子や足踏み等、音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫こらし、表現をするために必要な、曲にふさわし				

<p>楽譜からリズムを正確に読み取る力を育む 【思考力、判断力、表現力等】 グループで演奏方法などを創作し、独自の作品を創造する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら演奏する喜びを味わう</p>	<p>ボディー・パーカッションでのリズム表現を通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう</p>			○	○	<p>い奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ・他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	4
										70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8組：大平 真梨）

使用教科書：（光村図書 美術 1）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
<p>校内風景の制作 ＜風景画、鉛筆デッサン＞</p> <p>【知識及び技能】 形や明暗が引き起こす効果について学ぶ。透視図法などの作図法を学ぶ。鉛筆の適切な描画法を修得する。写真表現と描画による表現の違いを学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主題の生成、造形的な魅力を考えるところから、描画の対象となる場面を自ら創造的に設定する。またその場面を表現するのに適切な表現方法を探索する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 画家や他者の参考作品を鑑賞し、その作品の魅力や自己の創造活動に取り入れるよう導く。</p>	<p>○様々な参考作品を鑑賞し、それらの作品の魅力を感じ取る。</p> <p>○心ひかれる風景をあらわすことに関心をもち、風景から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。</p> <p>○主題をもとに、形や構図などの構想を練る。</p> <p>○様々な場所を写真で撮影し、写真による表現と描画による表現をそれぞれ経験する。</p> <p>○透視図法などの作図法を学び、制作に活用する。</p> <p>○光や陰影、奥行き表現、鉛筆による描画法などを工夫して制作する。</p> <p>○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 形や光などが感情にもたらす効果や、透視図法などの作図法を理解し、全体の表現の中で効果的に活用しているか。</p> <p>画材の特性を生かし、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心ひかれる場面を見つめ感じ取ったことや、その場所に対する自分の思いなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。また造形的な魅力や美しさを感じ取り、表現しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 〔表現〕主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしているか。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	22	
<p>ペーパークラフトの制作 ＜デザイン、彫刻＞</p> <p>【知識及び技能】 身近なモチーフからその造形的な特徴を捉え、立体で表現する方法を学ぶ。用具の適切な扱いについて学習する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主題の生成、造形的な魅力を考えるところから、適切な造形方法を思考し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者の参考作品を鑑賞し、その作品の魅力や自己の創造活動に取り入れるよう導く。</p>	<p>○様々な参考作品を鑑賞し、立体による視覚伝達や造形の面白さに関心をもち、</p> <p>○身近なモチーフから感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどから主題を生成する。</p> <p>○主題をもとに、形や色、用具の使い方などの構想を練る。</p> <p>○紙による立体表現の可能性を探索し、用具の特性を生かして制作する。</p> <p>○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 造形的に魅力あるモチーフを発見し主題を設定しているか。</p> <p>また、その造形的な特徴を捉え、立体で表現する方法を工夫しているか。用具を適切に扱っているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主題の生成、造形的な魅力について、十分に考えられているか。自己の表現に適切な造形方法を思考しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 〔表現〕主体的にデザイン・彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしているか。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	14	
<p>平面構成の制作（前半） ＜デザイン、色彩＞</p> <p>【知識及び技能】 配色や構成などの視覚的な効果について学習する。</p> <p>材料や用具の特性を生かし、適切な場所に適切な表現方法を用いることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 魅力的な主題を生成し、効果的な構成、配色などについて構想する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者の参考作品を鑑賞し、その作品の魅力や自己の創造活動に取り入れるよう導く。</p>	<p>○様々な平面デザインの作品を鑑賞し、絵画表現とデザイン表現の違いを認識する。</p> <p>○植物をテーマにした平面構成に関心をもち、モチーフや伝える相手などから主題を生成する。</p> <p>○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。</p> <p>○形や色、構成などを工夫して制作する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などを理解しているか。</p> <p>材料や用具の特性を生かし、適切な場所に適切な表現方法を用いて制作しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 魅力的な主題を生成し、効果的な表現形態や構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 〔表現〕主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	10	

3 学 期	<p>平面構成の制作（後半） ＜デザイン、色彩＞ 【知識及び技能】 配色や構成などの視覚的な効果について学習する。 材料や用具の特性を生かし、適切な場所に適切な表現方法を用いることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 魅力的な主題を生成し、効果的な構成、配色などについて構想する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の参考作品を鑑賞し、その作品の魅力や自己の創造活動に取り入れるよう導く。</p>	<p>○様々な平面デザインの作品を鑑賞し、絵画表現とデザイン表現の違いを認識する。 ○植物をテーマにした平面構成に関心を持ち、モチーフや伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。 ○形や色、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などを理解しているか。 材料や用具の特性を生かし、適切な場所に適切な表現方法を用いて制作しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 魅力的な主題を生成し、効果的な表現形態や構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしているか。 【鑑賞】主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	12
	<p>エッチングの制作 ＜版画、空想画＞ 【知識及び技能】 エッチングの表現技法を学習し、その造形的な特徴を生かして想像した世界を表現できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己を見つめ感じ取ることから、想像した世界を構築し、主題を生成する。効果的な表現方法を構想する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の参考作品を鑑賞し、その作品の魅力や自己の創造活動に取り入れるよう導く。</p>	<p>○想像した世界をあらわすことに関心をもち、現実にはない不思議なことを想像することから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ○エッチングの技法を学び、あらわしたいイメージを、材料や表現方法を工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 線と点による表現が感情にもたらす効果や、造形的な特徴を生かして、作品が構想されているか。 エッチングの技法を理解し、適切な表現方法を用いて制作しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や構図などについて考え創造的な表現の構想を練っているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしているか。 【鑑賞】主体的に他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	12
									合計
									70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術（音楽） 科目 音楽発展

教科： 芸術（音楽） 科目： 音楽発展

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： 堀野 由

使用教科書：（ MOUSA II （教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽発展 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、より高度な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	・歌唱 【知識及び技能】 作品にあった発声方法・言葉の発音・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組む	・教科書・副教材 作品、役の背景や歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う ・コンコーネ ・The phantom of the opera ・夢やぶれて ・（オペラアリア） ・独唱 動画提出	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	・鑑賞 歌舞伎 【知識及び技能】 歌舞伎音楽理解する 歌舞伎の歴史や文化的背景を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 現代に続く歌舞伎の魅力を感じる	・ワークシート ・歌舞伎の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 ・現代も進化を続ける歌舞伎の魅力を感じる。 ・三味線を中心とした歌舞伎音楽の特徴を理解し、その魅力を味わう。				○	・曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりや音楽の特徴を理解している。 ・歌舞伎の文化的・歴史的背景を理解し、現代の発展について興味を持っている。 ・音楽表現の共通性や固有性について考え、歌舞伎の特徴や和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○		○	4
2 学 期	・クラス・グループ別発表会 【知識及び技能】 作品にあった表現方法・作品形成・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協動的に一つの作品を作り上げるために積極的に学習活動に取り組む	・ワークシート 各種楽譜 音や音楽に対する自己のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素の働きを方などを試行錯誤しながら、音楽表現について考える。 ・発表会 グループ発表を通じて表現の難しさと喜びを感受し、他者の発表を鑑賞を、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く	○	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声等、身体の使い方等の技能を身に付け、表現している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組む、感性を高め、学習活動に取り組んでいる	○	○	○	12
	・合唱 【知識及び技能】 作品にあった発声方法・言葉の発音・作品の背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 作品の魅力の感受、その表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組む 作曲家・作品の背景を学び、音楽文化の奥深さを味わう	・教科書・副教材 合唱による表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌ったりする技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌う。 ・ベートーヴェン 交響曲第9番	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成、歴史的背景を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	13
合計											35

国立 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道発展

教科：芸術 科目：書道発展 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 4組

教科担当者：（1～4組：齊藤美）

使用教科書：（教育図書 書Ⅱ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道発展 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
漢字の書(草書) 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・草書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・草書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・創造的な表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字の書(草書) 「十七帖」他 ・教材→教科書・書道用具 等				【知識・技能】 ●知識 共通事項 【表現】漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ●技能 草書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現】草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】草書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。					5
1 学 期 臨書作品制作 【知識及び技能】 ・漢字・仮名の書を構成するさまざまな要素や、古典・古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・古典・古筆に基づく効果的な表現の技能、変化や調和、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの学習を踏まえ、各書体の古典・古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・古典・古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・創造的な表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 これまでの学習を生かし 画仙紙(半切)での臨書作品 の制作 ・教材→教科書・書道用具 等				【知識・技能】 ●知識 共通事項 【表現】漢字・仮名の書を構成するさまざまな要素や、古典・古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書的美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ●技能 古典・古筆に基づく効果的な表現の技能、変化や調和、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 【表現】これまでの学習を踏まえ、各書体の古典・古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】古典・古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【表現】自身の表現の意図に基づく表現、各書体等の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 【鑑賞】書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。					8

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	芸術科 音楽総合	単位数	2	対象学年・組	3年 自由選択
使用教科書	教科書:	教科担当者	堀野 由		
教材	教材: 各種楽譜				
教科・科目のねらい(目標)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ソルフェージュ能力の開発 ・表現の幅を広げ、演奏者としての素地を作る。 ・さまざまな音楽を知り、音楽の仕組み、背景を知る 					
	指導内容	指導目標	評価の観点方法	予定 時数	
4	ソルフェージュ 楽典復習 新曲視唱 重唱 日本歌曲	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典基礎を復習する ・基礎的な新曲視唱等に挑戦し、ソルフェージュ力を身につける ・モーツァルトの重唱に取り組み、その奥深さを味わい、技術力を高めて作品を完成させる ・日本語歌唱の正しい方法を学び、美しい日本語で歌唱する奥深さと喜びを味わう 	テスト ・新曲視唱 ・楽典 ・独唱、重唱発表	6	
5				6	
6				6	
7				6	
9	ソルフェージュ 楽典基礎固め 新曲視唱 コールユーブンゲン コンコーネ 独唱 器楽重奏 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典基礎を理解する ・正しい音程で歌うことができる ・自分に合った独唱作品演奏し、表現の幅を広げる ・ピアノ連弾を楽しんで演奏する ・多様な音楽作品を鑑賞し、その奥深さを味わう 	テスト ・楽典 ・コンコーネ ・新曲視唱 ・各国歌曲 ・重奏発表	8	
10				8	
11				8	
12				6	
1	独唱 鑑賞 西洋音楽史	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい音程で歌うことができる ・西洋音楽史のおおまかな流れを知り、演奏に活かすことができる ・多様な音楽作品を鑑賞し、その奥深さを味わう 	テスト ・独唱曲 ・感想文	8	
2				6	
3				2	
				合計 70	

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	芸術科 美術総合	単位数	2	対象学年・組	3年自由選択
使用教科書 教材		教科担当者	浜 順一郎		

教科・科目のねらい(目標)

- ・心の教育として、観察を通じた感動、感受を大切に、自ら学び自ら考える力を養う。
- ・創造的な活動を通して、美的体験を豊かにし、感性を高め、表現と鑑賞の能力を高める。
- ・作品制作を通じ、自己実現のために完成まで見通し計画する力を養う。
- ・表現・鑑賞を通じ、将来にわたり個性豊かで創造力豊かな人格を育成する。

	指導内容	指導目標	評価の観点方法	予定 時数
4	オリエンテーション	・個別面談を通し、生徒個々が授業を計画する。	・個別面談を通し、生徒個々が授業を計画する。	4
5	課題Ⅰ ・各自のテーマに沿った制作	・作品制作(①・②を選択)を通し、知識・技術を高める。	・それぞれが目的意識を持って、作品制作に取り組むことができたか。	8
6	① 大学入試実技課題の制作	・進捗状況を確認し、適切なアドバイスを行う。	・講評会を通して、大学受験に必要な知識・技術を高める。	8
7	② 美術Ⅰ・Ⅱを踏まえた発展的制作 講評会	・講評会を通して、大学受験に必要な知識・技術を高める。 旺盛な制作意欲をもって授業に臨み、制作過程を通し完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返る。	・講評会を通して、完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返る。	4
				1学期 24
8	課題Ⅱ ・各自のテーマに沿った制作	・1学期に引き続き、各自で計画して作品制作(①・②を選択)に取り組む。	・各自の目的に沿って、意欲的な作品制作ができたか。	2
9	① 大学入試実技課題の制作	・進捗状況を確認し適切なアドバイスを行うことで、知識・技術を高める。		6
10	② 1学期の制作を踏まえた発展的制作	・講評会を通して、大学受験に必要な知識・技術を高める。		8
11		旺盛な制作意欲をもって授業に臨み、制作過程を通し完成度の高い作品づくりの追究ができたか自己を振り返る。		8
12				6
				2学期 30
1	課題Ⅲ ① 受験直前の実技指導	・美大受験で想定される課題を本番に近い環境で制作し、実技試験に備える。	・受験課題を理解し、要求される水準の制作ができるようになったか。	6
2	② 1, 2学期で完成できなかった作品の追加制作	・高校生活最後の作品の完成度を高める。	・最後まで意欲的に課題制作に取り組むことができたか。	6
3				4
				3学期 16
				合計 70